

登録コード	HM136900	開講年度	2026			
授業題目	スポーツ医科学論文演習				担当教員	増木 静江 他
英文授業名	Thesis Seminar in Sports Medical Sciences				副担当	森川 真悠子
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標/course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加					
	【研究科共通_2024年度以前加付対象】高度専門職業人・研究者として、科学・技術を発展させるための健全な倫理観				科学・技術を発展させるための健全な倫理観に基づき、スポーツ医科学に関する学術論文を読み解くことができるようになる。	
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能				スポーツ医科学に関する専門的知識、手技に基づき、先行研究について理解し、説明できるようになる。	
	【専攻】医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力				超高齢社会、地球温暖化など現在の社会問題について、その打開策を、自身が取り組んでいる博士論文研究と関連づけて提案できるようになる。	
(2)詳細 /Detailed information	スポーツ医科学に関する学術論文について、自らの研究と結びつけて、独自の視点で読み解く力を培う。					
(3)授業の概要 /Overview of course	スポーツ医科学に関する学術論文を読み、従来の流れを要約し、それを踏まえて自身が取り組んでいる博士論文の意義と独創性についてプレゼンテーションする能力を習得させる。					
(4)授業計画 /Course plan	(増木静江 / 8回) スポーツ医科学に関する学術論文を読み、1) 内容を要約して、2) これまでの研究の流れと問題点を判りやすく紹介し、3) 自らが取り組んでいる博士論文研究について何が新しいのかをプレゼンテーションする能力を習得させる。 (森川真悠子 / 7回) 抄読会形式で、運動トレーニング、環境適応過程における循環・体液調節機構に関する論文、社会問題解決のためのスポーツ医科学に関する論文を読み、その内容を要約して、分かりやすく紹介できる能力を習得させる。					
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	毎回の授業で、指定した論文を読みその内容についてプレゼンテーションを行ない、その内容を評価する。 スポーツ医科学に関する学術論文を理解できれば「可」, 従来の流れを要約できれば「良」, それらを踏まえて自身が取り組んでいる博士論文の意義と独創性について述べることであれば「優」, スポーツ医科学研究に関する将来展望について自身の意見を述べることであれば「秀」とする。					
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	毎回の授業の最後に、次の回で読むべき論文を指定する。					
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	各担当教員が直接対応する。					
(8)授業の形式 /Course format	大学院生が発表、討議を行う。					